

「茶の湯体験学習」
指 導 計 画 案
キャリア教育

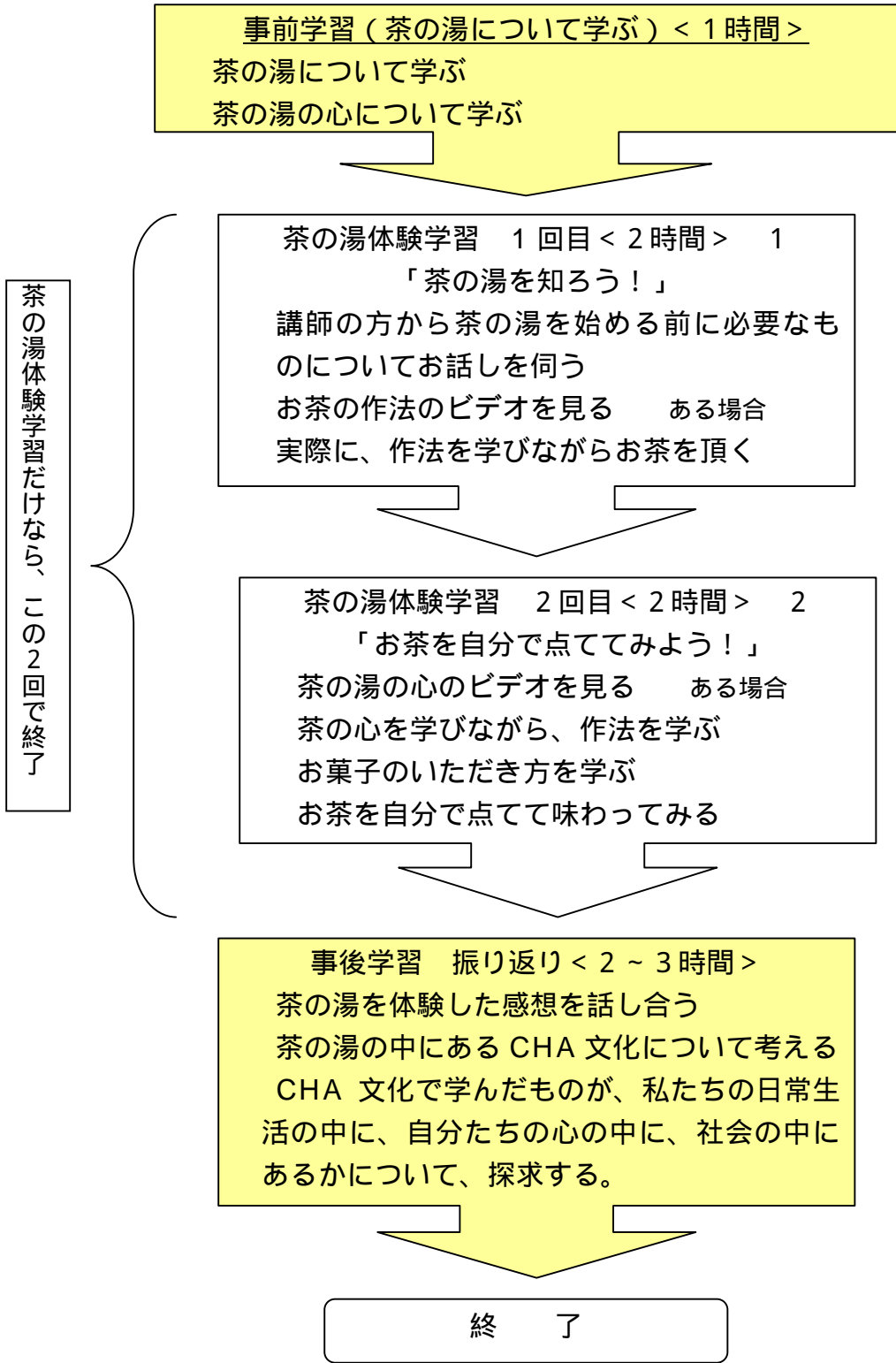
(小学校3年～6年)
総合的な学習(キャリア教育)

講師の先生	
お手伝い	

小学校

実施クラス		統括担当：	
担任：	担任：	担任：	
年 / 組 人	年 / 組 人	年 / 組 人	

カリキュラムの流れ



第1時間目	月 日 () までに実施	時限目	クラス単位
段階	授業目的	つきたい力	
事前学習	<p>茶の湯について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶の湯とは何かを知ろう ・ 堺とお茶と利休について知ろう <p>茶の湯の心について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶の心を知ろう 	<p>情報活用能力 資料の分析力</p>	
授業内容	<p>茶の湯体験学習をする前に、事前学習として、茶の湯とは何か、あるいは茶の湯の周辺にある歴史や背景、茶の心などについて調べたり考えたりする時間をもつ。</p> <p>伝統・文化としての茶の湯について学ぶ（伝統文化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料などで調べる ・ 知っていることをみんなで出し合う <p>堺とお茶と利休について知ろう（社会科）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料などで調べる ・ 堺市博物館や伸庵などの資料を使い、堺とお茶の関わりを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 利休について調べる <p>茶の湯の中にある茶の心を知る。</p> <p>茶の心を知る（伝統文化、道徳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶の心とは何か？ ・ 最後に、茶の湯を体験した後に、もう一度考えようという問いかけをしておく。5、6年生であれば事後学習につながるよう、茶の湯にあるもてなしの心を中心に「CHA文化」について導入してもよい。 <p>すべての項目を入れなくてもよい。学年に応じて、適宜項目を選ぶ。茶の湯について調べていった後、CHA文化につながるよう意識した流れを作る</p>		
授業の準備	<p>私たちのまち堺 堺市博物館、伸庵等の資料を集めておく Web教材「茶文化からCHA文化へ」が使える環境を整備 Web教材「茶の湯徹底分析シート」「CHA文化徹底分析シート」を活用</p>		
次回への準備	<p>茶の湯体験学習のための準備物を揃える 講師の先生との打ち合わせ 学習支援いただく保護者の方との連絡をとる 茶の湯に関するビデオがある場合は用意する</p>		
児童・生徒について気づいた点			

第2・3時間目 1	月 日 ()	時限目	合同クラス
段階	授業目的	つきたい力	
茶の湯体験学習	茶の湯体験学習 「茶の湯を知ろう」 ・茶の湯について講師の方から話を聞く ・茶の湯を体験する	人の話を聞く力 観察力 表現力 コミュニケーション力	
授業内容	1時間目 挨拶 講師紹介 軸、花の説明 ビデオ 茶の湯の作法ビデオ ない場合は講和 デモンストレーション お客 2名 手前 半東、解説 2時間目 各クラスに分かれて おじぎの仕方 「真・行・草」 お干菓子のお楽しみ方 お茶のお楽しみ方		
授業の準備	Web「茶の湯からCHA文化へ」から茶の湯に関する情報を入手 別紙「茶の湯体験」で準備するもの参照 ビデオ：茶の湯の作法についてのビデオ、映写機、スクリーン、ビデオデッキ（ビデオがある場合用意する）		
次回への準備 備考	別紙「茶の湯体験」で準備するもの参照		
児童・生徒について 気づいた点			

< 1 2は堺市立西陶器小学校の実践事例をご提供いただき作成しています >

第4・5時間目 2	月 日()	時限目	クラス単位
段階	授業目的	つきたい力	
茶の湯体験学習	茶の湯体験学習 「お茶を自分で点ててみよう！」 茶の湯の心のビデオを見る ある場合 茶の心を学びながら、作法を学ぶ お菓子のいただき方を学ぶ お茶を自分で点てて味わってみる	人の話を聞く力 観察力 表現力 コミュニケーション力	
授業内容	<p>2時間を通して(適宜休憩を入れる)</p> <p>挨拶 講師紹介 ビデオ 茶の湯の心に関するビデオを見る ビデオがない場合は講和 おじぎの仕方「真・行・草」 主菓子のいただき方 解説・実践 お茶のいただき方 自分でお茶を点て味わってみる</p> <p>お茶のお作法で挨拶が重要であり、お茶を通じてコミュニケーションをとり、人間関係を作っていることを感じる。</p>		
授業の準備	別紙「茶の湯体験」で準備するもの参照 ビデオ：茶の湯の心に関するビデオ、映写機、スクリーン、ビデオデッキ(ビデオがある場合用意する)		
次回への準備	事後学習のための準備 学習目標に応じて道徳、社会科、総合的な学習に関して学ばせたいテキストや資料を用意する。(Web「茶の湯からCHA文化へ」参照) 子どもたちの自主学習としてインタラクティブ・スタディ型教材を利用できるように準備する。(平成20年度Web教材として提供予定)		
児童・生徒について気づいた点			

< 1 2は堺市立西陶器小学校の実践事例をご提供いただき作成しています >

第6時間目	月 日 ()	時限目	クラス単位
段階	授業目的	つきたい力	
事後学習 茶の湯について考える	事後学習 振り返り 茶の湯を体験した感想を話し合う 茶の湯の中にある CHA 文化について考える (1)	まとめる力 分析力 表現力 チームワーク 観察力	
授業内容	<p>茶の湯体験を通して感じたことを話し合う 体験を話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶の湯を体験した感想を話し合う。(グループで) グループで出た意見を全体で発表する。 <p>今まで出てきた意見について、いろいろな角度から考えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶の湯について、マナーについて、伝統文化について、和の心について等、いろいろな角度から考えてみる。 <p>茶の湯の中にある CHA 文化について考える (1) いろいろな角度から捉えた茶の湯と日常生活の接点を探求! 日常との接点を探究するために、まず、自分探しから始める</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分徹底分析シート」を使い、自分自身と社会との接点を探る 次回は、自分や社会と茶の湯・茶の心とのつながりを考えていくことを子どもたちに伝える <p>気づいたことを記述する 以上の探求の中から見つけたこと、感じたことを文章にまとめる。</p> <p>振り返りでは、体験学習で感じたことを話し合う中で、茶の湯や茶の心と自分自身や社会とのつながりについて考えさせるために、できるだけ多様な視点から体験を考えるよう促す。</p>		
授業の準備	<p>メモ用紙(ポストイット) たくさん 模造紙(あればチームに1枚。黒板で代用可能) これらは、視点を明確にさせていく探求のプロセスに必要なもの 気づいたことをまとめるための用紙 感想文のための用紙 Web 教材「自分徹底分析シート」を活用</p>		
次回への準備			
児童・生徒について気づいた点			

第7・8時間目	月 日 ()	時限目	クラス単位
段階	授業目的	つきたい力	
事後学習 CHA文化について考える	事後学習 振り返り 茶の湯の中にあるCHA文化について考える(2) CHA文化で学んだものが、私たちの日常生活の中に、自分たちの心の中に、社会の中にあるかについて、探求する。	まとめる力 論理的思考力 分析力 表現力 チームワーク 観察力	
授業内容	<p>茶の湯の中にあるCHA文化について考える(2) 「CHA文化」について考えさせる。 前回いろいろな角度から捉えた茶の湯と日常生活の接点を探求！した内容を発展させて、「CHA文化」が現代社会の中で、自分の中でどのように活かされているかに気付かせる。 ・「CHA文化徹底分析シート」</p> <p>CHA文化で学んだものが、私たちの日常生活の中に、自分たちの心の中に、社会の中にあるかについて、探求する。 「CHA文化徹底分析シート」を使って、茶の湯の心が、現代社会や自分たちの中にも息づいていることを知るために、前回行った「自分徹底分析シート」に加え、「仕事徹底分析シート」「働くこと徹底分析シート」「私たちのまち徹底分析シート」を活用する。 「CHA文化徹底分析シート」と「自分徹底分析シート」「仕事徹底分析シート」「働くこと徹底分析シート」「私たちのまち徹底分析シート」で分析した内容とを見比べて、CHA文化が自分自身や社会や仕事に活かされているものを探究する。CHA文化に込められた茶の湯の心が現代社会にも息づいていることを知るよう促す。 日本の社会の中に息づいているCHA文化の心は、世界に誇ることができる日本の文化であることを知り、日本の国に誇りをもつことができるようにする。最後に感想文を書かせる。</p>		
授業の準備	<ul style="list-style-type: none"> Web教材「自分徹底分析シート」「CHA文化徹底分析シート」「仕事徹底分析シート」「働くこと徹底分析シート」「私たちのまち徹底分析シート」を活用 感想文の用紙 		
次回への準備			
児童・生徒について気づいた点			